

LPガス安全・安心道場

「LPガスを安全・安心に使うため」をモットーに！
CO（一酸化炭素）中毒事故を起こさないように気をつけましょう。

安全道場訓

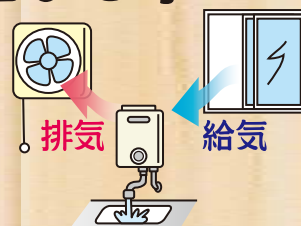
3つの心得じゃ!!



換気

一、ガス器具を使う時は換気をする事

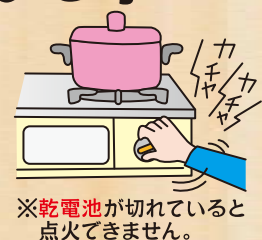
換気扇を回してときどき窓も開け、換気（給気と排気）をして新鮮な空気に入れ換えましょう。空気（酸素）不足のままガスを燃焼すると、有毒なCOが発生します。「無色・無臭」な為、気付かないうちにCO中毒を起こし、死に至る場合もあります。



確認

一、点火時は必ず目で見て確認する事

点火ミスを繰り返すと器具内にガスが溜まって引火し、事故につながる恐れがあります。点火時は炎が青い事を必ず目で確認し異常を感じたらすぐにLPガス販売店に点検の依頼をしましょう。

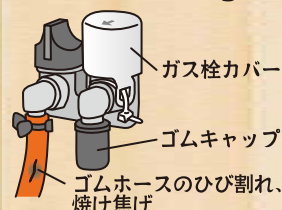


※乾電池が切れていると点火できません。

防止

一、誤開放を防ぐ為、ガス栓カバーをする事

誤開放防止の為、使っていないガスの元栓のつまみは「閉」にし、ガス栓カバーとゴムキャップをつけましょう。ゴムホース（ゴム管）にひび割れや焼け焦げのあるものは交換しましょう。



安全を24時間見守る器具があります

ガス警報器やCO警報器などを設置すれば、ブザーや音声で異常をお知らせするため安心です。



ガス警報器 CO警報器

※交換期限の5年を過ぎたら新しい警報器とお取り換えください。

緊急時はすぐ連絡

ガス臭い・ガス漏れなどの異常を感じたら使用をやめ、「緊急時の連絡先」へ連絡を！

※緊急時の連絡先はあらかじめLPガス販売店に確認してください。

緊急時は

夜間休日も対応

30分以内に対応



ガス使用を再開するときの安全確認

地震などの災害後は、必ず安全確認を行ってからガス使用を再開しましょう。

✓ 確認チェック①

●ガス漏れやガスの臭いがしていないか！
ガス漏れやガス臭い時は、ガスを使用せず器具栓、ガスの元栓、メーターガス栓および容器バルブを全て閉めて、「LPガス販売店」か「緊急時の連絡先」へ連絡してください。

✓ 確認チェック②

●ガス器具に損傷がないか！
ガス器具が損傷していた時はガスを使用せず、ガス器具メーカーに修理を依頼してください。

余震や停電に注意してお使いください。

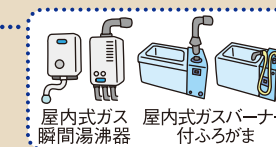
ガスメーターがしゃ断された場合は、ガスメーターの表示を確認して、復帰操作を行ってください。復帰できない場合は、LPガス販売店にご連絡ください。

※ガスメーターの復帰方法など、詳しい情報はLPガス安全委員会ホームページでご確認ください。



長期使用製品安全点検制度をご利用ください！

「特定保守製品」を購入したら



①説明を受けましょう

ガス器具購入店から点検制度についての説明を受けます。

②所有者登録をしましょう

所有者票をガス器具購入店に渡すか、ガス器具メーカーに郵送し、登録しましょう。



③点検を受けましょう

点検時期が来ると通知が届きます。ガス器具メーカーに点検（有料）を依頼しましょう。

※点検を受けていただくことが法律で求められています。

今お使いのガス器具も点検が受けられます。

平成21年4月より前に製造された製品は法定点検の対象外ですが、お客さまのご依頼があれば、法定点検に準じた点検を行います。点検・調査・修理・改善（有料）については、ガス器具メーカーにご相談ください。

提供 LPガス安全委員会 / 経済産業省

詳しい情報はLPガス安全委員会のホームページでご確認ください
<http://www.lpg.or.jp/>